

財団法人機能水研究振興財団

平成23年度事業計画書

平成 23 年4月1日～平成 24 年3月31日

機能水研究振興財団

理事長 糸川 嘉則

財団法人機能水研究振興財団
平成 23 年度事業計画

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

1. 機能水及び機能水生成器に関する研究助成事業の推進

1) 機能水研究助成

アルカリイオン水、酸性電解水などの機能水に関して指定研究助成、指定課題研究助成を実施する。

2) 研究成果の公開

①助成研究の成果を日本機能水学会などの学術集会、研究報告書または年報において公開する。

2. 機能水及び機能水生成器に関連する調査研究事業の推進

1) 委託研究の実施

賛助会員からの研究委託要請を受けて、公益性を勘案して内容評価の上、研究実施者を選考・指定し、研究を委託実施する。

①アルカリイオン水の作用機序や新生理作用に関する研究

②オゾン水等の物性、有効性、安全性に関する基礎研究

2) 共同企画調査研究の推進

公益性のある課題に関して課題ごとに研究班を組織し、実施する。

①歯科領域における酸性電解水(次亜塩素酸水)の評価に関する研究

②医療施設等における酸性電解水(次亜塩素酸水)の有効活用に関する研究

③食品衛生・生活衛生・公衆衛生における酸性電解水(次亜塩素酸水)の有効活用の推進に関する研究

④電解水および製造装置の標準化に関する研究

3) 機能水研究に関わる論文等の関係資料の収集・整備

①日本機能水学会の協力の下、機能水関連の学術研究論文、技術情報など関係資料の収集・整理および開示を行う。

3. 機能水及び生成器等に関する成果の普及・促進事業の推進

1) 機能水シンポジウム・研修会などの開催

①シンポジウム：日本機能水学会第 10 回学術大会(平成 23 年 10 月)との共催を予定。

②研修会：日本機能水学会支部(関東・関西)との共催を予定。

2) 成果の発表・開示

①報告書・冊子・パンフレットなどの作成

・医療における強酸性電解水の評価に関する報告書等の作成。

・電解水(アルカリイオン水や次亜塩素酸水など)に関する一般向け解説書の作成。

②電解水手洗いシステム展示

・手指洗浄を必要とする分野の各種集会において展示を行う。

3) 特別会員の活動の支援

①日本機能水学会、ウォーター研究会、関西ウォーター研究会、アルカリイオン整水器協議会、日本電解水協会、微酸性電解水協議会、の会議、講演会、研修会などの後援や実務支援を行う。

4) 情報の発信

- ①ニュースレター： 年間計 6 号の刊行(隔月)を予定。
- ②ホームページ： 事業報告書、決算書を含め公益性のある情報を中心に機能水に関する情報発信を行う。

5) 既刊行物の頒布

- ①アルカリイオン水および次亜塩素酸水に関する既刊行物(電解水ガイドなど)の頒布を引き続き行う。

6) 各種問合せに対する対応

機能水に関する公共団体や一般からの電話、メール、FAX による問合せにできる限り対応する。

4. その他

1) 新法人移行への取り組み

新法人の選択を決定し、移行手続きを開始する。

2) 厚生労働省等への働きかけ・対応

- ①生食用鮮魚介類への使用など食品分野における規制解除について働きかけを行う。
- ②次亜塩素酸水の包括的成分規格の策定に関する働きかけを行う。

以上